様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	京都医療科学大学
設置者名	学校法人　島津学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

<table>
<tr><th rowspan="2">学部名</th><th rowspan="2">学科名</th><th rowspan="2">夜間・通信制の場合</th><th colspan="4">実務経験のある教員等による授業科目の単位数</th><th rowspan="2">省令で定める基準単位数</th><th rowspan="2">配置困難</th></tr>
<tr><th>全学共通科目</th><th>学部等共通科目</th><th>専門科目</th><th>合計</th></tr>
<tr><td rowspan="2">医療科学部</td><td>放射線技術学科</td><td>夜・通信</td><td rowspan="4">9</td><td rowspan="4">－※</td><td>108</td><td>117</td><td>13</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>夜・通信</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td></td><td>夜・通信</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>夜・通信</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="9">（備考）
※本学は１学部１学科の単科大学のため全学共通科目＝学部等共通科目となる</td></tr>
</table>

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバス検索（ホームページ）

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	京都医療科学大学
設置者名	学校法人　島津学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

法人役員等（ホームページ）

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	企業 代表取締役会長	2021/12/4 ～ 2025/12/3	学校運営全般
非常勤	国公立大学 教授	2021/12/4 ～ 2025/12/3	教学に関わるチェック機能
非常勤	私立大学　名誉学長	2021/12/4 ～ 2025/12/3	教学に関わるチェック機能
非常勤	公的病院　センター長	2021/12/4 ～ 2025/12/3	労務、法務に関わるチェ ック機能
非常勤	国公立大学 教授	2021/12/4 ～ 2025/12/3	法人管理、運営に関わるチェック機能
非常勤	企業 代表取締役社長	2021/12/4 ～ 2025/12/3	学校経営に関わるチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	京都医療科学大学
設置者名	学校法人　島津学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） シラバスには、各授業の、授業内容、学修目標、授業方法、成績評価の方法を記載すると同時に、授業計画を記載している。授業計画には、授業ごとの概要と到達目標、具体的な予習／復習と、それらに費やすべき時間を記載している。また、授業ごとに卒業認定・学位授与の方針として設定したディプロマ・ポリシーの項目との関係を明示している。これらの項目に曖昧な表現がないか、チェックシートによる本人の確認と教務委員長によるダブルチェックを行い、シラバスの品質を担保している。以上を記載したシラバスは、学生が閲覧できる Web システム、および、本学のホームページにて内外に公表している。

授業計画書の公表方法	https://aaa.kyoto-msc.jp/aa_web/syllabus/se0010.aspx?me=EU&opi=mt0010

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 学修意欲の把握や卒業研究の評価には、「ルーブリック評価」を実施している。リーダシップ、協調性、問題解決力、豊かな人間性などは、課外活動・イベントの参加率や、授業の出席率などに細かな重み付をしており、学生表彰の成績表彰の補正値としても活用している。試験やレポートについては、シラバスに示された学修目標および到達目標を測るものになっていることを検証できるよう、実施した全試験のコピーの提出を担当教員に義務付けている。
３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
GPA の計算方法は学生便覧と本学のホームページに掲載し公表しており、個人ごとの GPA は半期ごとに学生とその保護者に通知している。GPA の学年別の分布を学内にて公開するとともに GPA の到達目標を設定し、担任による個別指導に使用している。また、科目間のバラツキを是正する目的で、科目別の GPA を算出し教員間に公開している。

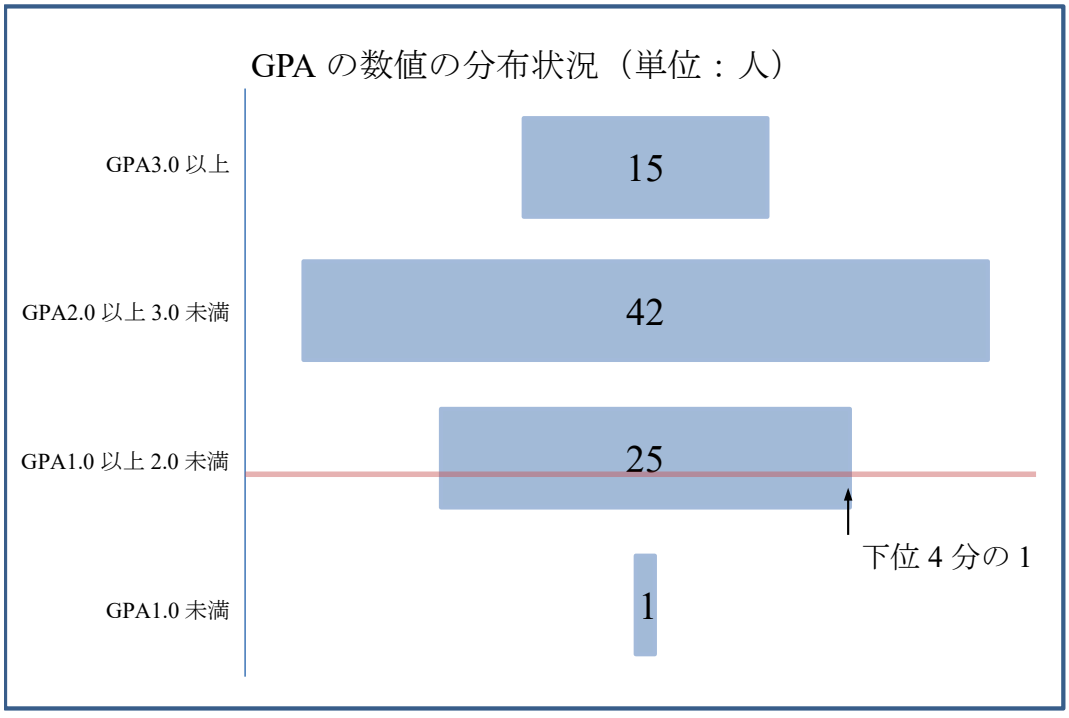
GPA の計算方法

評価	評点	判定基準
秀	4.0	総合評価　90 点以上
優	3.0	総合評価　89～80 点
良	2.0	総合評価　79～70 点
可	1.0	総合評価　69～60 点
不可	0.0	総合評価　60 点未満

$$GPA = \frac{「秀」\times 4.0 + 「優」\times 3.0 + 「良」\times 2.0 + 「可」\times 1.0 + 「不可」\times 0.0}{「秀」+「優」+「良」+「可」+「不可」}$$

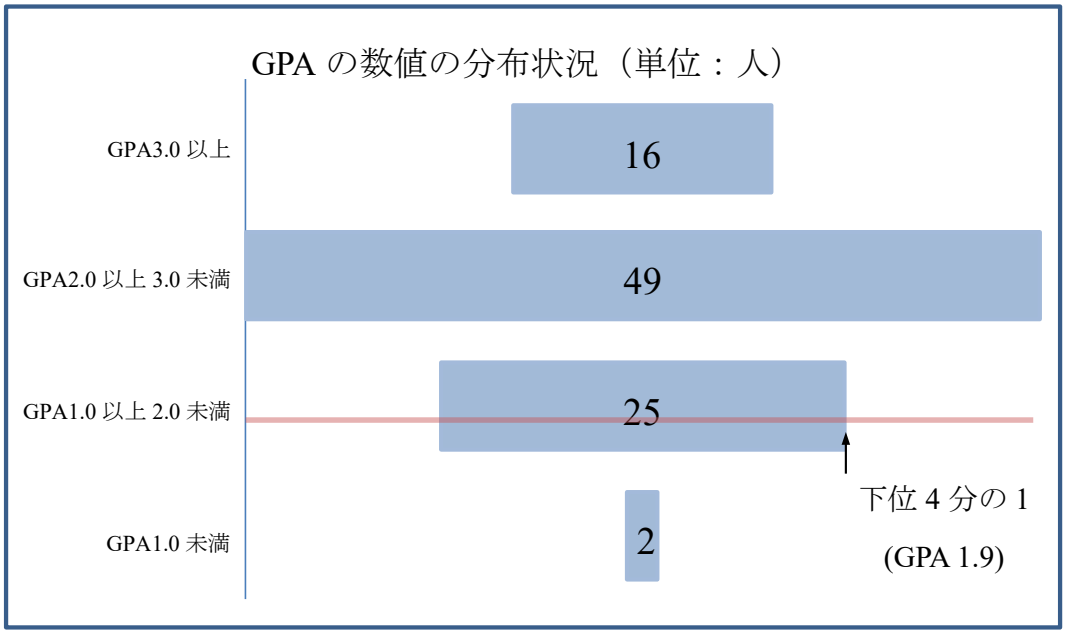
（「　」は、それぞれの評価がついた科目の単位数を表している）

医療科学部　第１学年（学生数 83 名）



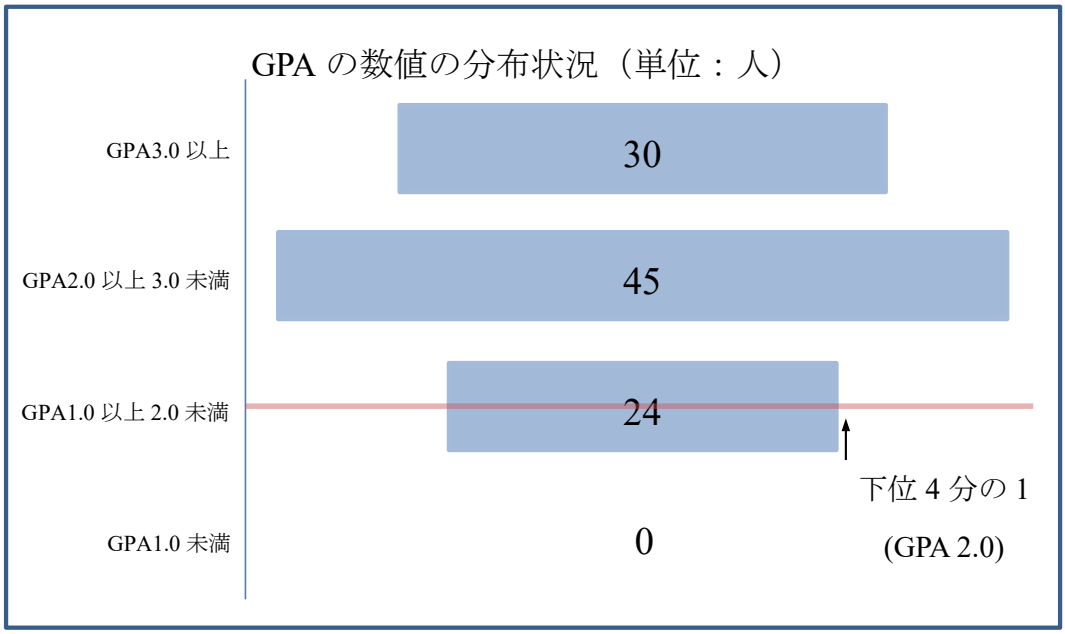
下位４分の１：GPA1.9 以下（20 名）

医療科学部　第２学年（学生数 92 名）



下位４分の１：GPA1.9 以下（24 名）

医療科学部　第３学年（学生数 99 名）



下位４分の１：GPA2.0 以下（24 名）

客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.kyoto-msc.jp/campus_info/gakuen/ 学修成果・卒業認定/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ディプロマ・ポリシーに照らし合わせ、科目「総合演習」を実施している。この科目で行われる試験内容は、資格取得に特化したものになり過ぎないよう、学士課程を完結する集大成としてのバランスを取りながら複数の教員で相互確認し推敲している。この試験をクリアすることで卒業の認定をしている。「総合演習」をクリアする点数は、教授会で議論し、保護者と学生に対し事前に公表することで、明確な到達目標として提示している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.kyoto-msc.jp/campus_info/gakuen/ 学修成果・卒業認定/

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	京都医療科学大学
設置者名	学校法人　島津学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	財務情報（ホームページ）
収支計算書又は損益計算書	財務情報（ホームページ）
財産目録	財務情報（ホームページ）
事業報告書	事業報告書（ホームページ）
監事による監査報告（書）	監査報告書（ホームページ）

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：自己点検評価書（ホームページ）

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　医療科学部
教育研究上の目的（公表方法：教育目的【ホームページ】）
（概要） 京都医療科学大学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、医療科学に関する高度の知識及び技術について教育・研究するとともに、品性を陶冶し、国民の保健医療の向上に寄与できる有為の医療専門職の人材を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：学位授与方針【ホームページ】）
（概要） 京都医療科学大学の建学の精神により、以下のような能力を身につけ、かつ本学の学 則に定める卒業に必要なすべての授業科目の単位を修得した者について、卒業を認定 し学位を授与する。 1）品性を陶冶し、チーム医療の一員としてコミュニケーション能力と幅広い一般教養 を兼ね備えている。 2）医療技術に関する専門的知識 及び 基礎となる知識を十分に修得している。 3）思考力、理解力を有し日々進歩する技術に自ら対応できる能力を備えている。 4）医療技術で地域社会・グローバル社会に貢献するとともに、国民の保健医療の向上 に寄与し、人類の健康への願いを実現する強い意欲を持っている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：教育課程方針【ホームページ】）
（概要） 京都医療科学大学では、ディプロマ・ポリシーに要求される能力を修得するため、教養教育科目、専門基礎科目、専門科目、総合科目に区分し、以下の方針でカリキュラムを編成する。 1）教養教育科目では、社会における医療人としての幅広い人間性を形成するため、高等学校で学んだ基礎知識をさらに深める。また、科学的思考の基盤となる数学や物理学、生物学等を初年次に学び、科学技術の進展等に対応し得る統合された知の基盤を獲得するための科学的思考を養い、専門基礎科目への導入をはかる。さらに、生活の基盤 及び人間に対する理解を深めるための科目を配置し、グローバル社会でチーム医療の一員として活躍するためのコミュニケーション能力を養う科目等を配置する。 2）専門基礎科目は、専門的知識や技術を学修するための基礎となる科目群であり、思考力、判断力を養い、進歩の著しい放射線技術学の実践応用に対応できる基礎知識を修得するため、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 及び 理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術　を学ぶ科目等を配置する。 3）専門科目では、実践を支える専門的知識・技術を確実に修得する科目として、診療画像技術学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、医用画像情報学、放射線安全管理学、医療安全管理学等の科目群を配置する。さらに、学内の最新医療機器を用いた実験実習科目では、進歩の著しい放射線技術学分野の知識を確実にし、発展させ、学生自らが探求し、応用する能力を養う。 4）総合科目では、これまでの学修の集大成として総合研究及び 総合演習を実施する。総合研究では、学生の主体的な研究を通して、研究テーマの決定、問題解決能力、研究計画の立案能力、論文作成能力を体得する。総合演習では、専門基礎科目、専門科目で学修した内容について、知識・技術を総合的に整理して臨床現場で迅速に対応できる応用能力を身につける。 また、学外での臨床実習を通して、臨床現場で役立つ診療放射線技師としての能力を養う。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：入学者受入方針【ホームページ】）
（概要） 京都医療科学大学では、建学の精神に沿って次のような人物を求めている。 1）医療科学における高度先端知識の修得に意欲を持つ人物 2）常に問題意識を持ち、課題解決に向けて思考し、理解しようという意欲を持つ人物 3）多種多様な医療の職場環境において、常に明るく協調性と積極性に富み、柔軟に対応できる素養のある人物 4）診療放射線技師として、将来、社会貢献したいという意欲を持つ人物 求める能力　・基礎的な数学能力　・基礎的な国語能力　・基礎的な英語能力

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：組織（ホームページ）

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
	－	9 人	3 人	6 人	3 人	人	21 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
人	42 人	42 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：教員が有する学位（ホームページ）

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
医療科学部	90 人	90 人	100%	330 人	362 人	109.7%	0 人	0 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	90 人	90 人	100%	330 人	362 人	109.7%	人	人

（備考）

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
医療科学部	88 人 (100%)	1 人 (1.1%)	80 人 (90.9%)	7 人 (8.0%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	88 人 (100%)	1 人 (1.1%)	80 人 (90.9%)	7 人 (8.0%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
シラバスには、各授業の、授業内容、学修目標、授業方法、成績評価の方法を記載すると同時に、授業計画を記載している。授業計画には、授業ごとの概要と到達目標、具体的な予習／復習と、それらに費やすべき時間を記載している。また、授業ごとに卒業認定・学位授与の方針として設定したディプロマ・ポリシーの項目との関係を明示している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
学修意欲の把握や卒業研究の評価には、「ルーブリック評価」を実施している。試験やレポートについては、シラバスに示された学修目標および到達目標を測るものになっていることを検証できるよう、実施した全試験問題のコピーの提出を担当教員に義務付けている。
学士課程を完結する集大成として、科目「総合演習」を実施している。この科目で行われる試験内容は、資格取得に特化したものになり過ぎないようバランスを取りながら複数の教員で相互確認し推敲している。この試験をクリアすることで卒業の認定をしている。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
医療科学部	放射線技術学科	128 単位	（有）・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：学習環境（ホームページ）　キャンパスマップ（ホームページ）

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
医療科学部	放射線技術学科	900,000 円	250,000 円	670,000 円	その他費用は 2 年生～4 年生は 700,000 円
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）
個々の学生に対応して、1・2 年次はクラス担任、3・4 年次はゼミ担当教員が学修指導・支援にあたる。また、オフィスアワーを設定し学生が気軽に学習の相談が受けられる環境を整えている。最新の画像診断機器の導入、学生の自習の場としてラーニングコモンズ、ゼミ室など設備面からの修学支援や、給付型奨学金制度による経済的な支援も行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）
1. 学生支援センターが中心となり、卒業後の進路として、就職、進学、留学など、自分自身の進むべき道を自ら選択、決定、実現していくため、学生一人ひとりに適したキャリアを形成ができるよう支援する。学生支援センターでは、就職に向けて学生がキャリアを形成していくために必要となる自分の「興味」「能力」「価値観」と自分を取巻く「社会環境」について考え、自らの力で生き方を選択していくことが出来るよう、様々な形で支援する。
2. 就職支援として
①就活基本教育、進路ガイダンス、病院施設説明会、就職懇談会の開催
②病院実習、病院見学
③就職先施設との交流、および新規求人先の開拓
④求人情報の提供
⑤応募書類（履歴書、小論文等）の作成指導、推薦書作成
⑥模擬面接、フィードバック
⑦過去の各施設情報の提供
3. 進学支援として
① 大学院進学支援、面談、相談
② 大学院募集情報の提供

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）
保健室と学生相談室を設置しており、保健室は、8:30～16:30(事務課閉室日は利用不可)に開設しており、医師である専任教員が健康相談などをしている。
学生相談室(予約制)は、原則月・金 11:00～18:00、火・木 15:00～18:00(大学の業務日)に開室しており、公認心理師である専任教員が学生相談・心理相談をしている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：情報公開（ホームページ）

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。